

外部評価者会議（学生の意見）

1. 評価できる点

<授業について>

- 教育学部保健教育コースでは教員や卒業生との距離が近く、教員採用試験対策や面接対策が充実している。
- 資格を取得すれば単位の認定があり、検定費用の援助がある。
- 本学の学生である証明書があれば、割引価格で博物館に入館でき、足を運びやすい。
- 他学科の履修をすれば、専門科目に算入される。
- 中高英語の教員免許を取得できるクラスは、少人数編成で授業に取り組みやすい。
- 社会福祉士の資格取得を目指す集中講義が秋に行われ、1年生から対策が可能である。
- クラブに所属していなくても、ゼミでは先輩後輩と話す機会がある。
- 国際キャリア学科でも、教育分野について深く学べる。国際関係論や英文法の教員が良く、道徳性まで学ぶことができる。
- 社会学科は4コースに分かれていて、どの分野からでも専門的に学ぶことができる。
- 1年生から実習があり、3年生になると更に意欲が高まる。
- 人間福祉学科では、大学からの援助を受け、ハワイでのソーシャルワーク実習に参加できた。素晴らしい経験だったので、後輩たちにも多く参加してほしい。
- 経営学部企業経営専攻では、資格取得の授業があり必修である。また、3年生でオールインターンシップがあり、授業の中では就職活動に対する情報が多い。1年生から就職活動に向けて大学生活を送ることができた。
- 経営学部特待生では、海外インターンシップに参加できることも魅力である。経営学部にも所属でありながら英語も勉強も出来る。
- 経営学部独自の特待生制度は、学力向上にプラスである。GPAを高めるために、積極的に授業に取り組むことで、互いに高めあうことが出来ている。
- クラス担任制の導入や1年生から大学基礎演習があり、大学に馴染む過程で大切である。
- 保育実践演習では1年生と交流ができるため、1年生の不安を解消できる。
- 学べる分野が多いため、興味のなかった分野にも挑戦し、視野を広げることが可能である。

2. 改善への助言・意見

<授業について>

- 実践的な授業が少なく、実習先のことで分らないこともあった。
- 教員の退職により希望のゼミがなくなり、行きたいゼミを選択したくても出来なかった。
- 3年生になると、英語免許取得のためのクラスが大人数となり、授業がざわつくこと

がある。

- 福祉系では就職する分野が広い。卒業生で就職した人がどれくらいいるか、あるいは、学生の時にどのようなことを学ぶと役立つのかなどを現場で働く人から聞きたい。
- 出席管理の方法を統一してほしい。カードリーダー、レポートコメント、IBUポータル等さまざまである。
- 科目によって評価基準が異なる。評価では、授業への出席のみで課題をしていなくても「秀」、課題をしても「優」であるなど、授業によって差がある。
- 早い段階から英検準1級の勉強に取り組み、SPI対策等も1年生からできるようにしてほしい。3年生で教科教育法I～IVを履修し、自主勉強会を開催してもらっているが、勉強の量が足りていない。
- 大阪市の会、大阪府の会などの勉強会があるということを最近知った。同じ教員を目指していても、教育学部と他学部で情報に差がある。
- 履修登録期間を延ばしてほしい。履修登録について、PIATAで新入生の履修登録サポート支援をしているが、私が入学した年度よりはるかに履修登録期間が短い。私たちが1年生の際は1回受講してからでも、履修登録訂正期間以外に、履修できる期間があった。
- 学生同士の縦の関係をもちたい。先輩に不安を聞いてもらうことや助言をもらう機会を増やして欲しい。
- 他学部では、ゼミで先輩後輩との関係があるが、経営学部では縦の関係が薄い。縦の関係を強め、就職活動に対する不安解消や就職相談等を行いたい。
- 経営学部特待生制度は、前年度の成績を参考にしているため、一度選ばれた12名の中での競争（2年生～4年生が変わりにくい）が起こっている。どの時期からでも目指せる制度にすることで、学力の底上げが出来ると感じる。
- 学びたい授業が3つ重なると2つは1年生、2年生と分けて履修できるが、1つは諦めなくてはならない。人気の授業は週2回の開講をお願いしたい。

<就職活動とキャリア教育科目について>

- 1～2年生時のキャリアデザインニングI・IIの授業の質を高めていただきたい。どの学科も「キャリアデザインニングI・II」が1年生から必修になっているが、就職活動に真剣に向きあう時期は3年生からで、グループワークの際に不真面目な学生は取り組み方が薄い。この授業は最初しか評価がないため、真面目に取り組む学生と不真面目な学生が同評価である。キャリアの授業は就職対策に必要であるが、その重要性を1～2年生時に伝えることができていない点が問題である。重要性を感じないため、3年生で履修せず就職活動に対して焦りを抱く学生が多い。

<学生支援について>

- 国際交流の場をもっと増やしてほしい。ジャンプスタートイングリッシュを15回受講することで、海外留学が可能となる等改善してほしい。
フィリピン留学は、偏差値の高い（TOIEC900レベル）他大学生もいるので、自分のレベルを認識する機会にもなる。
- 保育科はA・B・Cクラスある。Bクラスを前半・後半に分けないでほしい。前半後半に分ける授業があることで、授業によって内容が異なり、A・Cと比較してもBはまとまりが良くない。
- 学生運営副委員長として大学職員と関わる機会が多く、達成へのプロセス・考え方のギャップが大きかった。職員と学生がコミュニケーションを取る場を増やし、企画書の作り方等も含め、もう少し指示していただく方が学生は動きやすかったと感じる。
- 大学祭などの行事で立て替えた費用の清算処理が遅いので早くしてほしい。
- 藤井寺駅からの路線バスの本数が少ない。木曜日2限は礼拝（1年生必修）で多くの学生が混雑しているので、便数の増加を検討していただきたい。
- 図書館利用について、就職試験（公務員、教採、看護）に関する書籍の貸出期間を延ばして欲しい。
- 問題があった際の担当部署（課）がどこなのかを明確にしていきたい。教務課へ相談に行くと、学生支援課へ行くよう言われ、学生支援課では教務課へ行くよう言われ、たらいまわしになった。

<施設・設備について>

- 教室の照明について、スクリーン前だけ消えるようにしてほしい。手元が暗くなり、ノートがとりにくい。
- 夏のエアコンが効きすぎて寒い。特に4号館上階や6号館は寒い。